

# 勤労者の生活向上目指す 富士宮地区労福協が新年の集い



小林会長らによる鏡開き

富士宮地区労働者福祉協議会（小林純一会長）による2013年新年の集いが18日、富士宮市黒田のゲストハウス・フォレストヒルズで開かれ、117人の会員が新年を祝った。あいさつに立った小林会長は、若い会員のために同協議会の活動と役割を紹介。ライフサポートセンター岳南事務所が昨年完成したことに触れ、「働き盛りの年齢が悩みを抱え、自殺している現状において、重要な位置づけ

となっていく。1人で抱え込まずに相談をしてほしい」と訴えた。来賓の須藤秀忠市長は「厳しい経済状況の中で、市も積極的な政策をとり、住宅、教育、生活の協調融資や勤労者共済会活動などを通じて、皆さんと共に勤労者の福祉と生活向上を目指していきたい」と述べた。

小林会長、須藤市長らによる鏡開きの後は、食事をしながら歓談。ゲームや抽選会などを行いながら、異業種の

仲間と交流した。